



トレモロ練習器教本

トレモロ練習器はマンダリンの「平行奏法」の理論を基に考案したものです。平行奏法とは手首の動きの軌道が弦に対し直角になることにより弦がより自然に振動しきれいな音を発音させ、演奏表現を豊かにする演奏法です。

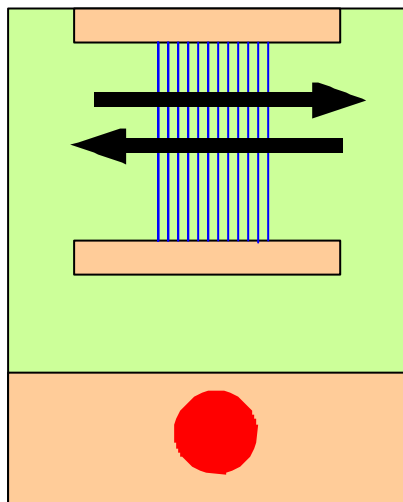
トレモロ練習器を使うことにより手首が楽器に対し平行に大きく振幅する動作を身につけることができます。これはトレモロだけでなく単音の撥音（ピッキング）にも応用されます。

練習の前に腕、手首、指のストレッチング（柔軟体操）を十分行いましょう。

手の甲が天井を向いているか、ピックが往復ともすべての弦にさわっているかを確認しながら練習しましょう。

まずはゆっくり練習しましょう。ピックがスムーズに動くようになりましたら少し早く弾いてみましょう。

トレモロ練習器使用法



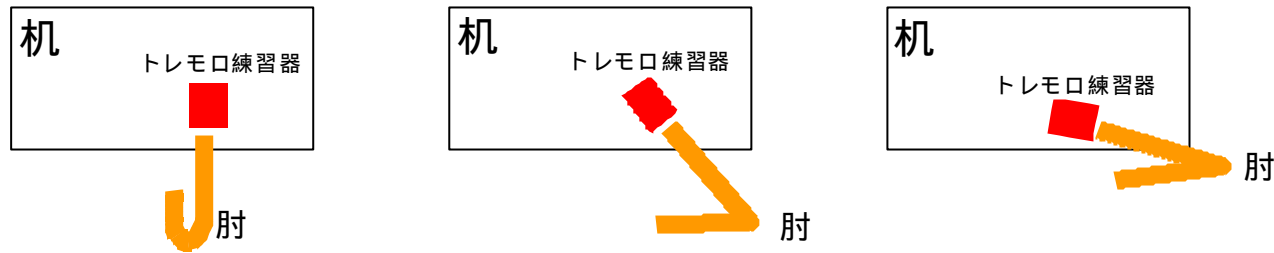
トレモロ練習器（左図）の赤丸の部分に右手首を置きます。この時手の甲が天井を向くように（小指側が下がらないように）しましょう。

指でピックを軽くつまみ矢印 のように全ての弦をゆっくり弾きます。間をおかず矢印 のように全ての弦を弾きます。

この動作を連続して行うことにより正しい手首の動きをマスターすることができます。

慣れてきましたら動きを早くしてみましよう。この時ピックが全ての弦に触れているかを観察しながら練習してください。

演奏姿勢について



トレモロ練習器を上図のように好みに応じて配置します。その際オレンジ色の線で示すように肘（ひじ）の角度を変え右手の甲が常に天井を向くように調整します。実際に大正琴を演奏する場合も同じですので常に正しい姿勢で練習しましょう。

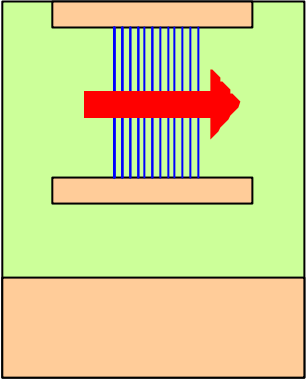
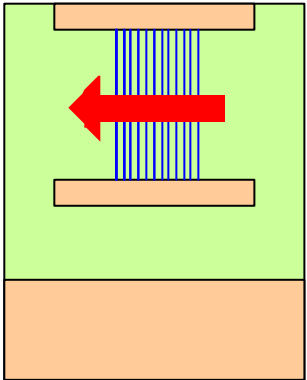
マンドリンやギターなどでのトレモロ練習の場合は練習機を楽器のように腹部に当て使うこともできます。

ピックは右手親指と人差し指で軽くつまみます。力を入れすぎると弦に引っかかってしまい、反対に力を抜きすぎるとピックが動いてしまいます。初めはピックが動いてしまいがち位の力加減で練習するのが良いでしょう。手首を動かしながらピックの動きを調整できるようになると柔らかなトレモロが演奏できるようになります。また、右手の人差し指と中指の第2関節の間に5ミリ位の間隙を空けると手首の動きがスムーズになります。



トレモロによる演奏表現は手首を動かす速さとふり幅、指先の力加減、ピックを持つ指と指との間隔（あそび）、ピックを握る位置、ピックを弦に当てる深さ、弦をはじく位置などを総合的に調整しながら行います。

記号の説明

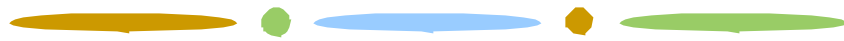
記号	呼び名	弾き方	説明
↑	ダウン奏法		左図のように左から右方向へ弾きます。なるべく大きな円を描くようにしましょう。
↓	アップ奏法		左図のように右から左方向へ弾きます。なるべく大きな円を描くようにしましょう。
2つの弾き方で練習しましょう。 弦を1本ずつなでるような弾き方。 シャッと機敏な動きで一気に奏する弾き方。			

4/4

トレモロ練習器

ピッキング練習曲

みやび大正琴研究会編



1

↑ ↓ ↑ ↓ | ↑ ↓ ↑ ↓ | ↑ ↓ ↑ ↓ | ↑ ↓ ↑ ↓

2

↑ ↓ ↑ ↑ | ↑ ↓ ↑ ↑ | ↑ ↓ ↑ ↑ | ↑ ↓ ↑ ↑

3

↑ ↓ ↑ ↑ | ↑ ↓ ↑ ↑ | ↑ ↓ ↑ ↑ | ↑ ↓ ↑ ↑

4

↑ ↑ ↑ ↓ ↓ ↓ | ↑ ↑ ↑ ↓ ↓ ↓ | ↑ ↑ ↑ ↓ ↓ ↓ | ↑ ↑ ↑ ↓ ↓ ↓

5

↑ ↑ ↑ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ | ↑ ↑ ↑ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ | ↑ ↑ ↑ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ | ↑ ↑ ↑ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓